

東北こでんアクション

東北において「小型電気電子機器リサイクルシステム構築社会実験」を実施しています。

“こでん”ってなに？

家庭で使い終わった電気や電池で動く
小型の電気電子機器のこと。

例えば、デジタルカメラ、ゲーム機、携帯電話などがあります。

なぜリサイクルするの？

- ① 日本でリサイクルし、貴重なレアメタルなどの金属資源を回収するため。
- ② 国内で、あるいは海外で不適正に処理されることを防ぐため。

“こでん”には鉄や銅などの金属の他に、希少な資源「レアメタル」が含まれています。これまでは、使い終わった製品のほとんどはリサイクルされずに、ごみとして処理されるか、不用品として回収された後に、国内での不適正な処理が行われる、あるいは輸出された後での海外での不適正処理が懸念されています。このような環境への負荷を抑えて、貴重な資源を回収する取り組みが重要となっており、現在、国レベルでリサイクルに関する制度化が検討されています。

どのようにリサイクルするの？

まずは使い終わった“こでん”を回収するところから始まります。回収にあたっては自治体が考える回収の方法に皆さんに協力していただくことが重要です。回収した“こでん”はリサイクル工場で、解体するなどして、鉄やアルミなどの資源を回収し、製錬所で金、銀、銅、レアメタルなどの回収を行います。

■処理の流れ



東北の静脈ビジネスの活性化

なぜ東北で社会実験なの？

東北地方が循環型社会形成を進めながら、復興・成長するために

東北地方は鉱山事業で培った非鉄製錬技術を用い、金属リサイクルに関連し、特徴的な企業が多く立地しています。今後、小型電気電子機器のリサイクルを通じて、循環型社会形成を進めながら、東北地方の産業の活性化をはかり、復興・成長することを目指しています。このような状況のもと、今後の法制度化に向けて、環境省東北地方環境事務所は東北の5つの地域を「社会実験」の対象として選び、平成24年度中の実施を進めています。



社会実験
実施地域

青森県鶴田町

秋田県全域
(25市町村)

岩手県盛岡市

山形県酒田市

福島県石川郡
石川町、浅川町、古殿町、
平田村、玉川村